

農作業コツのコツ

【第5号】

令和4年5月21日

福光農業改良協議会

砺波農林振興センター南砺班

福光農業協同組合 営農部

田植え後の活着は概ね良好ですが、藻が多発しています。水の入れ換えや軽い田干しを行い、初期生育の促進を図りましょう。

水稻・移植

1 水管理 ～浅水管理の徹底～

- (1) 中干しまで3cm程度の浅水管理とし、初期分けつの確保に努めましょう。
- (2) 藻や表層はく離が発生している場合は、1～2日程度の田干しを行い、水を入れ替えましょう。

2 中後期除草剤の散布 ～散布前後の水管理を丁寧に行う～

- (1) 粒剤やジャンボ剤の場合は、散布前に水の入れ替えや軽い田干しを行った後、防除効果を高めるため、やや深水状態(水深5～8cm)で散布し、その後5日間は湛水状態(水深5cm)を保ちましょう。
- (2) 液剤で落水処理をする場合は、雑草の茎葉に確実にかかるように散布し、3日間は落水状態を保ちましょう。

対象雑草	農薬名	使用時期	10a当たり 使用量	総使用回数 (使用期限)など
ノビエ のみ	クリンチャー1キロ粒剤 (クリンチャージャンボ)	移植後 7日～ノビエ 4.0 葉期	1kg (50g×20 個)	2回以内(収穫 30 日前まで)
		移植後 25 日～ノビエ 5.0 葉期	1.5kg (50g×30 個)	
	トドメ MF1キロ粒剤	移植後 14 日～ノビエ 5.0 葉期	1kg	3回以内(収穫 50 日前まで)
	トドメ MF 乳剤	移植後 14 日～ノビエ 7.0 葉期	200 ml (希釈水量 25～100ℓ)	2回以内(収穫 50 日前まで) ※湛水または落水処理
ノビエ 広葉雑草	アクシズMX1キロ粒剤	移植後 7日～ノビエ 4.0 葉期	1kg	1回(収穫 45 日前まで)
	トドメバス MF 液剤	移植後 15 日～ノビエ 6.0 葉期	1,000 ml (希釈水量 70～100ℓ)	2回以内(収穫 50 日前まで) ※落水またはごく浅水処理
	テッケンジャンボ	移植後 15 日～ノビエ 4.0 葉期	500g (50g×10 個)	1回(収穫 60 日前まで)
	ツイゲキ豆つぶ250	移植後 20 日(イネ 5.0 葉期以降) ～ノビエ 4.0 葉期	250g	1回(収穫 60 日前まで)
	マメット SM1キロ粒剤	移植後 20 日(イネ 5.0 葉期以降) ～ノビエ 3.5 葉期	1kg	1回(収穫 60 日前まで) ※低温(15℃以下)や高温 (30℃以上)が予想される場 合は使用を避ける
	ロイヤント乳剤	移植後 20 日～ノビエ 5.0 葉期	200 ml (希釈水量 100ℓ)	2 回(収穫 45 日前まで) ※落水、ごく浅水または 湛水処理
	アレイルSC	移植後 25 日～ノビエ 5.0 葉期 ※出穂始期 15 日前まで	500 ml(希釈水量 通常 50～100ℓ 少量 25～50ℓ)	1 回(収穫 45 日前まで) ※湛水または落水処理
広葉雑草 のみ	バサグラン粒剤	移植後 15 日～55 日	3～4kg	1回(収穫 60 日前まで) ※落水またはごく浅水処理
	バサグラン液剤	移植後 15 日～55 日	500～700 ml (希釈水量 70～100ℓ)	2回以内(収穫 50 日前まで) ※落水またはごく浅水処理
	バイスコープ1キロ粒剤	移植後 14 日～60 日	1kg	1回(収穫 45 日前まで)

※詳しくは「営農とくらし」P54～57、60を参照してください。

3 溝切り ～溝は必ず連結する～

- (1) 溝切りは、早生品種は5月末頃、コシヒカリ・てんこもり・直播は6月初めに行いましょう。
- (2) 溝の間隔は、10～15 条に1本程度を目安に、秋まで残るしっかりした深い溝を切りましょう。
- (3) 中干しは、溝切り後直ちに(田植え後1か月までに)開始しましょう。

溝切りの効果

- ・ほ場への入排水が短時間で均一に行え、水管理がしやすくなります。
- ・ほ場全体が同じように乾き、収穫作業がしやすくなります。

除草剤は、雑草の発生状況を確認し、遅れずに散布しましょう。

中干しの効果を高め、収穫時の地耐力の確保のために溝切りを行いましょう。

水稻・直播

1 水管理 ～浅水管理の徹底～

- (1) 水深3cm程度の**浅水管理**を行い、早期に分げつを確保しましょう。
- (2) 藻や表層はく離が発生し始めたら、水の入れ換えや軽い田干しを行いましょう。
- (3) 6月初めに10～15条に1本程度を目安に**溝切り**を行いましょう。

2 雑草防除 ～散布前後の水管理を丁寧に行う～

体系是正剤散布後に雑草が残った場合は、下表を参考に中後期除草剤を散布しましょう。

対象雑草	農薬名	使用時期	10a当たり 使用量	総使用回数 (使用期限)など
ヒエのみ	クリンチャー1キロ粒剤	播種後 10 日～ヒエ 3.0 葉期	1kg	2回以内 (収穫 30 日前まで)
		播種後 25 日～ヒエ 4.0 葉期	1.5kg	
	トドメ MF1キロ粒剤	イネ 3.5 葉期～ヒエ 4.0 葉期	1kg	3回以内 (収穫 50 日前まで)
	トドメ MF 乳剤	播種後 10 日～ヒエ 6.0 葉期	200 ml (希釈水量 25～100ℓ)	2回以内 (収穫 50 日前まで) ※湛水または落水処理
ヒエ 広葉雑草	アクシズMX1キロ粒剤	イネ 1.0 葉期～ヒエ 4.0 葉期	1kg	1回(収穫 45 日前まで)
	トドメバス MF 液剤	播種後 10 日～ヒエ 6.0 葉期	1,000 ml (希釈水量 100ℓ)	2回以内(収穫 50 日前まで) ※落水処理
	テッケンジャンボ	イネ 4.0 葉期～ヒエ 4.0 葉期	500g (50g×10 個)	1回(収穫 60 日前まで)
	マメット SM1キロ粒剤	イネ 5.0 葉期～ヒエ 3.5 葉期	1kg	1 回(収穫 60 日前まで) ※表面に記載の留意点を参照
	ロイヤント乳剤	イネ 3.0 葉期～ヒエ 5.0 葉期	200 ml (希釈水量 100ℓ)	2 回(収穫 45 日前まで) ※落水処理
	アレイルSC	イネ 4.0 葉期～ヒエ 5.0 葉期 ※出穂始期 15 日前まで	500 ml (希釈水量 100ℓ)	1 回(収穫 45 日前まで) ※湛水または落水処理
広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	イネ 3.0 葉期～入水 50 日後	3kg	1回(収穫 60 日前まで) ※落水またはごく浅水処理
	バサグラン液剤	播種後 35 日～50 日	500～700 ml (希釈水量 70～100ℓ)	2回以内(収穫 50 日前まで) ※落水またはごく浅水処理
	バイスコープ1キロ粒剤	イネ 3.0 葉期～出芽後 50 日	1kg	1回(収穫 45 日前まで)

※詳しくは「営農とくらし」 P54～55、P58～59、61 を参照してください。

大豆 ～今年の種子はかなり大きいので播種機の設定に注意する～

- (1) 青立ちの発生防止のため、早すぎる播種は避け、播種は5月末頃から行いましょう。
- (2) ほ場が乾いた状態でゆっくりと耕起し、土を細かくしてから播種を行いましょう。
- (3) 耕起～播種の一連の作業は1日で行いましょう。
- (4) 播種時期に応じた播種量となるよう事前に播種機の調整を行いましょう。ロール式の播種機の場合は、確実に1穴に2粒の種子が入るように開度を調整しましょう。

【播種量と播種機の設定の目安】

播種時期	播種量 (10a 当たり)	ロール式のsprocketの設定例 (条間 80cm、1 穴 2 粒)		回転皿式のsprocketの設定例 (条間 80cm)		
		繰出側	接地輪側	目皿	目皿側	車輪側
5 月末～ 6 月上旬	6. 8 kg (16, 000 本/10a)	1 1	1 3	B2	1 0	1 3
				B22	1 4	9
6 月中旬	7. 6 kg (18, 000 本/10a)	1 0	1 4	B22	1 3	1 0

※播種量は大豆種子(百粒重 38.2g)、苗立率 90%として計算

- (5) 基肥量は施肥基準を守り、過剰とにならないようにしましょう。
- (6) 播種開始時に種子の落下状況、播種深度(3cm程度)を必ず確認しましょう。
- (7) 走行速度が速いと播種量が少なくなるので、急がずに作業しましょう。
- (8) 播種後はほ場に水が溜まらないよう溝を手直しし、額縁排水溝や排水口に必ず連結しましょう。
- (9) 除草剤の効果を高めるため、播種直後の土が湿っている状態で速やかに散布しましょう。

大麦ほ場では、カラスノエンドウの抜き取りを徹底しましょう。